（別紙4（2））

事業所名　グループホーム輝楽苑

作成日：平成　28　年　9　月　13　日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	38	「その人らしい生活について」各利用者の在宅での暮らし、趣味、希望を捉えきれていない。施設での生活スケジュールが当たり前になってしまっている。個別支援が行えきれていない。	利用者のその人らしさ、当たり前の生活を実現する。	利用者様とご家族の関わりの中で、利用者様のその人らしさを知る。本人の希望や、今したいことは「また今度」ではなく、できる限りすぐに実現する。今日が最期かもしれないことを頭に置き、お互い、悔いの残らない生活を提供する。	12ヶ月
2	43	オムツ内に出た便を触ってしまうことがある利用者様がいる。	オムツの使用を減らし、トイレで排便排尿ができるようになる。	・排泄パターンを排泄チェック表を使い知る。 ・飲水量の変化にも注意し、観察する。 ・朝食後トイレ、またはポータブルトイレへ座る。 ・食事後トイレ、またはポータブルトイレへ座る。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注）項目の欄については、自己評価項目の№を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。